

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年5月18日

【評価実施概要】

| | |
|-------|--|
| 事業所番号 | 1172700716 |
| 法人名 | 狭山不動産株式会社 |
| 事業所名 | グループホーム見晴らしの家 |
| 所在地 | 〒350-1305 埼玉県狭山市入間川1730-1 (電話) 04-2950-7277 |

| | |
|-------|---|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター |
| 所在地 | 〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ |
| 訪問調査日 | 平成20年5月15日 |

【情報提供票より】(平成19年12月25日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|----------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成16年7月1日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 18 人 | 常勤 11人, 非常勤 7人, 常勤換算 11.2人 | |

(2) 建物概要

| | |
|------|----------------------|
| 建物構造 | 木造造り 2階建ての1階～2階部分 |
|------|----------------------|

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|--------------|----------------|------------|---|
| 家賃(平均月額) | 65,000 円 | その他の経費(月額) | 30,000円+実費 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有 (200,000円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| または1日当たり1,000円 | | | | |

(4) 利用者の概要(12月25日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 17 名 | 男性 | 5 名 | 女性 | 12 名 |
| 要介護1 | 3 名 | 要介護2 | 6 名 | | |
| 要介護3 | 5 名 | 要介護4 | 3 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 86.2 歳 | 最低 | 75 歳 | 最高 | 96 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------|
| 協力医療機関名 | 入間川病院、小幡歯科医院 |
|---------|--------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、自然豊かな茶畑、苗木畑に囲まれた田園地帯に位置した2階建て2ユニットのグループホームである。ホームの理念である「ゆっくり・のんびり・一緒に・楽しく」が出来る家庭的な雰囲気の中で生活の自立を図り、利用者中心の介護サービスが提供されている。地域自治会活動に参加したり、近くにある中学校の生徒の介護体験実習やボランティアの受け入れとともに、保育園児の訪問などもあり、地域に開かれたホームを目指している。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>大きな改善点はなかったが、外部評価結果を家族に知らせたり、運営推進会議、ミーティングで報告し検討した後に改善している。特に職員の継続教育には大変力を入れており、職員全員が受講しケアの質の向上に努めている。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>ミーティング等で自己評価の意義を説明し、個々の職員が自己評価に取り組み、ケアの振り返りをしている。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2か月に1回開催している。会議では、事業所の活動状況を報告し、構成員から評価を得ている。会議から出された要望や助言を介護の質の向上につながるよう努めている。</p> |
| 重点項目 | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時には近況を話し合いながら、意見や不安等を言いやすい雰囲気作りに配慮している。また、家族からの意見や希望については、運営推進会議で発言や助言をいただき、改善への方向付けをしている。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の一員として自治会に加入し、盆踊り、防災訓練に参加している。近くの中学校の運動会や文化祭に招待され、利用者も一緒に楽しむ一方、介護体験学習も受け入れている。また、保育園児との交流も楽しみにしている。</p> |

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|-------|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 開設時の理念「ゆっくり・のんびり・一緒に・楽しく」を掲げ見やすいように玄関に掲示している。ホーム長自身は地域密着を常に意識して交流に努めている。 | | 開設時からの会社の方針である「地域密着」を理念の中に表現するなど、理念についての話し合いの機会を持つことが望まれる。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念はわかりやすい言葉で表現し、玄関等に掲示して、日常のケアに活かされている。また、ケアプランや行事等においても実践に向けて取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 事業所は地域の自治会に加入し、盆踊り、お祭り、防災訓練等に参加している。また、中学校の運動会や文化祭に招待されたり、介護体験を受け入れる等の交流をしている。近所の保育園児の訪問もある。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 総務課長、管理者は、評価の意義や目的を理解し、ミーティング等で職員に説明して自己評価に取り組んでいる。また、外部評価の結果を検討し、日々の実践に活用している。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は、利用者も含めたメンバーで2か月に1回開催されている。会議では、事業所の活動状況を報告し、構成員から評価をいただき、必要な要望や助言をいただいてサービスの質の向上に活かしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|-----|-----------------------------------|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市の高齢介護課へ出向いて相談や指導を受けている。また、市の指導によるセンター方式導入については、事業所内で出張研修を全職員対象に実施し、サービスの向上に取り組んでいる。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | 見晴らしの家便りを年4回送付するとともに、利用者の近況報告や金銭管理等について定期的に報告している。家族の来訪が多く、利用者の生活ぶりについて話し合いをしている。また、状況の変化については、きめ細かい電話対応をしている。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の面会時には近況を話し合いながら、意見や苦情を出しやすい雰囲気作りを心がけている。また、運営推進会議で、家族代表から事業所全体に対する意見や苦情をいただき、運営に反映している。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | フロア間の職員異動は、極力少なくし、職員と利用者の馴染みの関係を大切にしている。非常時の応援体制にも考慮し、2名の援助を実施するなど、きめ細かな支援をしている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修管理表を作成し、勤務表と研修計画がうまく組み込まれ全職員がセンター方式の研修を受講している。外部研修にも参加するなど、職員全体のレベル向上に努めている。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 事業者協議会を中心にネットワーク作りをしている。今年度からは計画作成者も参加させ、サービスの質の向上に取り組んでいる。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人、家族が納得した上で契約していただき、利用者の状況により、家族が宿泊するなど個別性を重んじて家族等と相談しながら工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は利用者が人生の先輩であることを心得ており、利用者から学ぶ姿勢で声かけや気配りをしている。運営に対する意見をもらったり、昼食を一緒に調理するなど支えあう関係を築いている。 | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々のかかわりの中で、個人の気持ちに沿って外出などを実施している。また、本人の希望を大切に支援の方向を決めるようにしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 日ごろのかかわりを通して、利用者、家族の思いや意見を聴きケアプランに反映させている。職員の定期カンファレンス、緊急カンファレンス等で意見交換を行い、介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の期間に応じて見直しを行っているが、状態の変化や利用者、家族の要望を受け止めて見直し、新たな計画を作成している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|-----|---|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人や家族の状況により、通院や送迎など日常的な支援とともに遠方に住む家族にも協力するなど、必要な支援を柔軟に行っている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者の8割が本人、家族の希望により、かかりつけ医による月3回の訪問診療を受けている。また、必要時は紹介状により他の医療機関への入院、検査を支援している。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や終末期のあり方については医療機関への入院で対応しているが、さらに幅広く医療連携体制をとる方向も話し合っている。 | | 重度化した場合や終末期のあり方について、運営推進会議等で事業所の方針を明確化し医療連携体制の整備及び家族、地域の協力等基盤整備が望まれる。 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 言葉かけや対応についての気遣いはケアプランに盛り込んでいる。個人情報の保護に関しては、職員すべてにミーティングで伝えている。記録類の管理は守秘義務を励行し、保管場所に留意している。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 全体で統一した日常業務は最小限に抑え、個々のその日の体調に配慮した食事や着替え、入浴等その人に合わせた支援をしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|----|--|--|-----|---|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備や片付け等、可能な限り職員と共に行っている。差し入れの野菜、畑で出来た作物等を使って、利用者の好みを聞き、一緒に調理しており、食事が楽しいものになるよう支援している。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 本人の希望を最優先にして入浴の支援をしている。入浴を拒否される方に対しては、家族からの電話によって入浴の必要性を感じていただけるような方法をとるなど工夫している。 | | 利用者の希望は大切であるが、身体の清潔も大切であり、個々のタイミングに合わせ、入浴を楽しめる雰囲気作り等の工夫が望まれる。 |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 園芸、料理、掃除、ごみ捨て、お遣い等、利用者の個々の得意とすることを活かした役割分担をしたり、また、読書や散歩等趣味を楽しめるよう支援している。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 短時間でも個々に散歩や買い物に行けるように調整し、実施している。時には外食を楽しむなど生活にゆとりと潤いを感じる支援をしている。また、週に1回外出ボランティアの助けを借りて個別の外出を楽しんでいる。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 施錠しない運営について職員全体で話し合っている。利用者の安全面に配慮して、玄関には目立たないようにさりげない配慮をした鍵を付けているが、職員の見守りと声かけにより自由にゆったりと過ごせるよう支援している。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練を年2回実施し、火災予防のため点検チェックを続けている。自治会の避難訓練にも参加して地域の協力を得られるよう努めている。 | | 2階の避難階段からの救出方法、地域住民の協力体制、非常用品の備蓄等の基盤整備が望まれる。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量が毎日記録され、適切な量が摂取されているかチェックされている。体調の変化に応じて医師の指示を受け、個別メニューで提供している。また、体重測定を行って個々の支援をしている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関前は花壇や植木等があり、季節を十分楽しめるように工夫されている。入り口は広く明るい。ホールは木製の落ち着いた色合いで、大人の生活空間を大事にしている。利用者の目に付くところに時計やカレンダーがあり、利用者の作品や行事の写真が飾られて暖かい雰囲気である。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 広く明るい各居室には、利用者の好みのベッドや家具等が適当に配置されており、個人が居心地良く過ごせるように配慮されている。 | | |